

13. 徳島県のでんかん地域診療連携事業

徳島大学病院 てんかんセンター 森 健治, 多田 恵曜

まとめ

- ・ 事業計画を作成し、徳島県てんかん治療医療連絡協議会で承認された。今後、てんかん診療に関わる問題点の抽出および医療機関リストの作成を行う予定である。
- ・ 拠点病院の機能強化、行政、医療機関、福祉施設間の連携構築を強化していく計画である。
- ・ (1)てんかん診療機関・福祉保健のレベル向上、(2)てんかん地域診療連携の構築、(3)てんかんに関する啓発活動の充実、(4)相談および指導体制の向上、(5)てんかんに対する精神症状への対応、(6)トランジションに対する対応、(7)災害への対策整備の7つの目標を設定し、目標の実現に向け実施する事業の内容を設定した。

1. 概要

徳島県の総人口は74.33万人で、てんかん専門医は5名であるが、全員が徳島市である県東部に偏在している。今後、院内の診療連携を強化しつつ、一次、二次診療施設、県行政、福祉機関との連携を計画している。さらにはてんかん診療体制については課題が多い。てんかん発作以外にもうつなどの精神症状、記憶障害、抗てんかん薬の副作用、運転・就労・妊娠や出産への悩み、偏見とのたたかいなどさまざまな悩みが多い。小児てんかん患者が成人になっても、小児科医が継続して診療する場合も多く、小児神経医への負担が大きい。また四国では近い将来の発生が懸念される南海トラフ地震発生に対し、てんかん患者への対応策は急務である。災害時の備えを整備する必要がある。本事業では(1)てんかん診療機関・福祉保健のレベル向上、(2)てんかん地域診療連携の構築、(3)てんかんに関する啓発活動の充実、(4)相談および指導体制の向上、(5)てんかんに対する精神症状への対応、(6)トランジションに対する対応、(7)災害への対策整備の7つの目標を設定し、目標の実現に向け実施する事業の内容を設定する。

2. てんかん診療機関・福祉保健の向上を目的とした活動

てんかん患者が、より正確な診断及び適切な治療を受けられるためには、てんかん専門医のみならず、神経医を中心とした医師全体の知識の向上が必要である。徳島県下の医療機関の診療向上に継続的に取り組む。

(1) 診療施設のスキルアップ

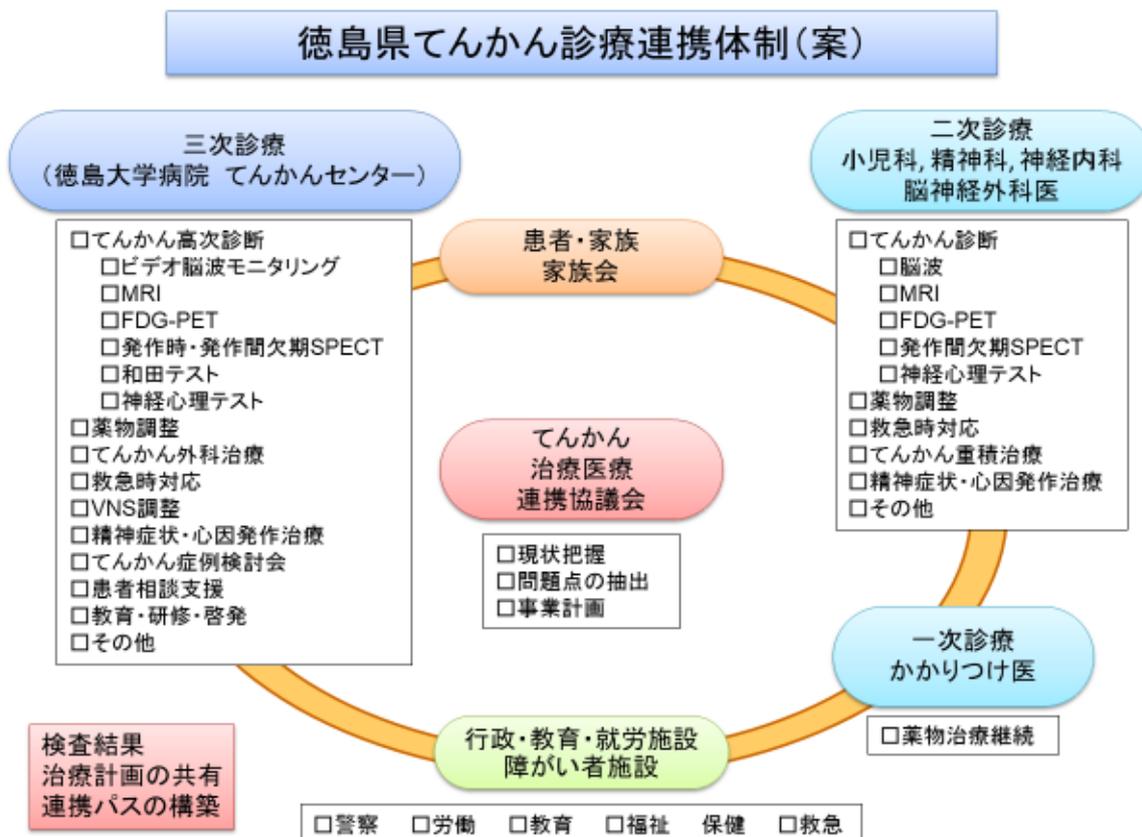
- ・ 徳島大学病院てんかんセンター、二次診療施設、一次診療施設のてんかん診療に関するスキルアップを目指す
- ・ 徳島大学病院てんかんセンターは広島大学病院てんかんセンターともwebカンファレンスや診療参加を行い、てんかんセンター診療の質を向上させる。
- ・ てんかんセンターにおける症例検討会、てんかんに関する看護師研修会、医師向けてんかん教育セミナー、脳波セミナーを定期的かつ継続的に行う
- ・ 他職種連携によって、生活の質を全般的に改善することが可能な体制を作る

(2) 学校や各種施設職員向け専門職のためのてんかん講習会

- ・てんかん発作時の対応、日常生活指導
- ・特別支援学校の教員等や学校医等

3. てんかん診療連携構築を目的とした活動

徳島県でのんかん地域連携システムは図のように考えている。現在は個別の医療機関等での連携はなされているが、徳島県全体でのんかん診療連携を検討する機会がないため、徳島てんかん診療ネットワーク研究会(2018. 2. 24)を実施した。および、てんかん治療連携協議会を設置し(2019. 1. 14)、連携体制の構築を計画した。



(1) 第1回徳島てんかん診療ネットワーク研究会では、徳島県でのんかん医療連携を検討する会であり、現状を報告し、他県のてんかん診療ネットワークの取り組みを学ぶ機会を設けた。行政および教育関係の職員が参加し、顔が見える連携構築に有用であった。

(2) てんかん診療連携協議会の設置

a. 構成

第1回徳島県てんかん治療医療連携協議会		
日 時	平成31年 1月14日(月) 10:00~12:00	
場 所	徳島大学病院 外来診療棟5階 日亜ホールwhite(小)	
出 席 者	森 健治	徳島大学病院医師
	東田 好広	徳島大学病院医師
	多田 恵曜	徳島大学病院医師
	中瀧 理仁	徳島大学病院医師
	森 達夫	徳島大学病院医師
	泉 千恵	徳島大学病院ソーシャルワーカー
	戸川 美史	徳島県保健福祉部 健康増進課
	石元 康仁	徳島県精神保健福祉センター 所長
	小西 哲也	徳島県発達障がい総合支援センターハナミズキ
	佐藤 純子	徳島県保健所長会代表(美馬保健所長)
	榊 浩一	徳島県教育委員会特別支援教育課
	田山 正伸	徳島県医師会常任理事
	島川 清司	徳島赤十字ひのみね総合療育センター医師
	佐藤 健太	徳島県立中央病院
	吉本 勉	阿南共栄病院医師
	藤野 佳世	ふじの小児科クリニック医師
	林 真美子	健生きたじまクリニック医師
	依田 啓司	徳島県立三好病院医師
	影治 照喜	徳島県立海部病院医師
	七條 文雄	鈴江病院医師
	上田 博弓	徳島市民病院医師
	阿川 昌仁	徳島県鳴門病院医師
島田由起代	富田病院 精神保健福祉士	
匿名	日本てんかん協会徳島県支部代表	
匿名	日本てんかん協会徳島県支部事務局長	
欠 席 者	和泉 唯信	徳島大学病院医師
	高橋 昭良	徳島赤十字病院医師 (第二小児科部長)
	瀬部 彰	吉野川医療センター医師 (脳神経外科主任部長)
	山上 貴司	天満病院医師 (小児科)
	曾我 哲郎	手束病院医師 (副院長・脳神経外科部長)
	秋田 亮	秋田病院医師 (院長 精神科)
	青野 将知	城南病院医師 (理事長・精神科)
	今井 幸三	今井メンタルクリニック医師 (院長)

陪 席 者	久保 美春	徳島県保健福祉部 健康増進課
	小林 保数	徳島大学病院 医事副課長
	中西 寿	徳島大学病院 医事係長
	平野 愛子	徳島大学病院 看護師

- b. てんかん診療に関わる問題点の抽出及び医療機関リストの作成を行う
- c. 開催予定 1回/年、その他適宜メール会議も行う

4. てんかんに関する啓発活動

5. てんかん患者と家族に対する相談および指導体制の向上を目的とした活動

- ・ てんかん診療支援コーディネーターの配置
- ・ 徳島県下の相談件数、相談内容、対応方法を共有し、問題点や課題を抽出し、解決策へと繋げる。
- ・ 雇用機関や教育機関との連携を構築
- ・ 関係機関同士のネットワーク京香
- ・ 支援を必要としているにも関わらず、支援に繋がっていない患者・家族の拾い上げ、および支援

6. てんかん患者の精神症状に対する対応

- ・ 精神科医によるてんかん外来
- ・ 外科治療前後に行う精神科医の診察
- ・ てんかん症例合同検討会
- ・ てんかんを専門とする精神科医の育成
- ・ てんかん発作がおさまっているのに生活の質が改善しない症例の検出と支援
- ・ てんかん患者の生活支援を可能にするような多施設連携の枠組み作り
- ・ てんかん患者の精神症状の啓発（市民公開講座、てんかん診療連絡協議会）

7. トランジションに対する対応

- ・ 徳島てんかん診療ネットワーク研究会、てんかん診療連絡協議会等を通して県内でてんかん診療が可能な医療機関のリストアップを行い、各施設の連携強化を行う
- ・ 徳島大学病院てんかんセンターおよび患者支援センターを中心として移行時の受け入れ先施設との連絡調整を行う
- ・ 市民公開講座や教育セミナー、脳波セミナー、症例検討会等を通して内外への啓発活動および教育を行い、てんかん診療のニーズを強調するとともに、診療に携わる医療関係者の教育を行う

8. 災害への対策整備

- ・ 患者および家族への啓発活動
- ・ 日本てんかん協会や病院間、行政などとの地域連携システム・支援協力体制の構築
- ・ 災害発生時の対応マニュアルの作成、研修・訓練などによる人材育成の実施
- ・ 抗てんかん薬の備蓄